(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

庁内整理番号

(11)特許出願公表番号 特表平6-502270

第6部門第3区分

(51) Int,Cl.5

(43)公表日 平成6年(1994)3月10日

G 0 8 B 23/00 A 9377-5G A 6 1 B 5/00 1 0 2 C 7831-4C G 0 8 B 23/00 N 9377-5G	審查請求 未請求 予備審查請求 未請求(全 11 頁)
(21) 出願番号 特願平5-502382 (86) (22) 出願日 平成4年(1992)7月10日 (85) 翻訳文提出日 平成5年(1993)3月10日 (86) 国際出願番号 PCT/US92/05677 (87) 国際公開番号 WO93/01574 (87) 国際公開日 平成5年(1993)1月21日 (31) 優先権主張番号 727,308	 (71)出額人 ラッセク、リンダ ジー アメリカ合衆国フロリダ州33432ポカレイトン・スイート209・ノースフエデラルハイウエイ1200 (72)発明者 ラッセク、リンダ ジーアメリカ合衆国フロリダ州33432ポカレイトン・スイート209・ノースフエデラルハスウェイ1200

FI

(54)【発明の名称】 患者監視のための非可聴警報と生命維持装置

EP(AT, BE, CH, DE,

1991年7月10日

米国(US)

DK. ES, FR, GB, GR, IT, LU, MC, N

識別記号

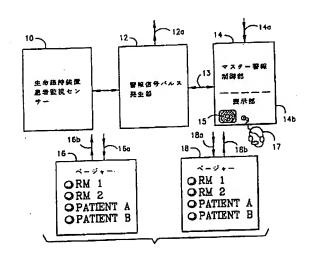
(57) 【要約】

(32) 優先日

(33)優先権主張国

L, SE), DE, JP

警報音から生ずる患者の外傷を防止するために、監視 患者又は周囲の患者に警報信号を設けることなく、患者 又は患者の生命維持装置が即時応答を必要とすることを 必要な医療及び病院人員に通知するための警報システム。システムは、患者と装置形式の符号化パルステムを 設ける警報信号発生器(12)を含む。符号化信号は、 好ましくは脅護婦部局に位置するマスター制御部(14) に送信される。それから、マスター制御部は、振動報知 器を有する適切なページャーグループ(16、18、 100)と患者位置と装置形式を記載する視覚表示部 (110)に同時に符号化警報信号を送信する。患者を ターとベッドの傍らの装置とページャーは、可聴警報信 号を有さない。警報信号は、ベッドの傍らの割り込みスイッチ(321)によって手動で終了される。



イウエイ1200

(74)代理人 弁理士 小田島 平吉

鏡水の範囲

1. 何院前、前院内及び何院後使用のための非可能通信システムにおいて、

旋痢院和、病院内及び病院後处定において使用される設置から電気信号 を受信するための手段と、

旅袋屋を撤別する警報信号と旅袋屋からの洗取り値を通信するために旅 信号受信手段と通信する警報信号発生手段と、

放警報信号と放装置疑取り値を受信し、患者位置、患者識別、及びその ような患者に関連した装置跳取り値に関する標識を表示するための制御 年散とを具備する非可聴通信システム。

- 2. 根式構造表示を有する少なくとも一つのペーツング手段をさらに 具備し、第制即手段は、放装置と患者に関する関連情報を視覚表示する 環境を放ページング手段に設けるために、質別信号を放ページング手段 に送信するための手段を有する請求の範囲1に記載の非可能通信システム。
- 3. 援動報知手段と、援助報知を設けながら該息者と該装置に関する 関連情報を模定表示するための視覚表示手段とを有するページング手段 をさらに具備する請求の範囲1に記載の非可随通信システム。
- 4. 該視覚表示手段が、即時応答を必要とする特定の警報信号に関する意、患者と被定を指示する根準を表示するための照明表示面面をさらに具備する請求の範囲3に記載の非可能通信システム。
- 5. 該ページング手段が、ページャーメッセージへの応答を入力として受信するための応答手段と、

制御手段が、協携帯用ヘッドセットに連結されるために適合される論求 の転囲10に記載の外可聴通信システム。

- 12. 旋病院後処遇が、診療所、医院、病院、療養所と患者の家において装置を具備する調求の範囲1に配戴の非可能通信システム。
- 13. 族警報信号発生手段が、抜警報信号と放装置決取り値を直接に 抜ページング手段と該制御手段に設ける請求の範囲2に記載の非可聴通 ほシステム。
- 14. 旗警戒信号発生器に適結され、旗装置の近くに位置する警報信 母発生器信号割り込みスイッチと、

放制り込みスイッチが作動されるまで、状態信号の受信に拘わらず、拡 警報信号と旋装電洗取り値を発生し続ける手段とをさらに具備し、この 場合練警報信号は、旋装度の近くに位置する割り込みスイッチによって 終了される鎖状の範囲1に記載の非可聴通信システム。 該応答を該制御手段に透信するための透信手段とをさらに具備する領攻の範囲2に記載の非可能適信システム。

- 6. 食ページング手段が使用者によって着用される情求の範囲5に記 他の非可認過信システム。
- 7、雄劇舞手段が、さらに、

メッセージ情報を放射御手段に設けるためのキー入力手段と、

終メッセージ情報を配慮するためのメモリ手段と、

メッセージを優先させ、抜メッセージを選切な人員に経路指定するため に、抜メッセージ情報と終警報信号と被置税取り値を処理するための処 球手段と、

放処理メッセージ情報を通信するためのトランシーバー手段とを具備する技球の範囲1記載の非可能通信システム。

- 8. 放メッセージ情報が、放射関手及が放処理メッセージ情報を適切な利用可能な模員に送信するために、すべての息者に関する最新環員情報を含む調求の範囲7に記載の非可能通信システム。
- 9. 政府院和知道が、緊急医療サービスと教急車装置を具備し、これにより、政制御手段は、政医療サービスと教急車によって使用された緊急医療装置から返替報信号と装置統取り値を受信する検求の範囲1に記載の非可能適信システム。
- 10. 複数の携帯用無線電話機を含む音声通信手段と、 該複数の携帯用無線電話機での通信の秘密性を保証するために、鉄複数 の携帯用無線電話機の各々に運結されるように適合された携帯用ヘッド セットとをさらに具備する請求の範囲1に記載の非可能通信システム。
 - 11. 抜複数の携帯用無線電路機が、該制御手段と通信し、そして該

明 相 🖀

患者監視のための非可聴警報と生命維持装置

発明の背景

発明の分野

本発明は、一般に、確実かつ信頼性ある患者監視を设け、また、限定 的ではないが、静原内送り装置、除細動器、換気装置、EKG、EEG 及び原拍モニターの如く、各種の医療装置の作動状態を監視するための 通信及び響報システムに関する。本システムで使用される装置は、数念 車において、又は事故現場における如く、病院前投定において使用される る緊急装置、患者の家、疲養所、収容所、医院、診療所又は医学校にお ける如く病院後段定における数量、及び回復室又は手術室における如く 病院において使用される装置を含む。

契明は、長距離で医療情報を通信し、かつ適切な医療及び病院人員を助けを求める患者に即座に召喚するための手段を设けることができる。 是明は、不必要なストレス又は外傷を妨止するために、患者に無音で観察できない。システムはまた、医療及び病院職員と他の患者のストレスレベルを結小する。本発明の別の見遠は、使用者と病院裏器管理者により多くの情報を指示する通信を促進するために医療人員において好都合に着用される監視装置を设けることである。発明のさらに他の見遠は、医療人員が医学装置の作動状態を返院検査することができる通信システムを设け、システムによって適信された医療緊急事態のためのより良い最慢管理を设けることである。

先行技術の説明

重症患者及び生命維持核量モニター及び警報システムが、公知である。 典型的に、モニターは、患者の生命維持医療装置に取り付けた患者のベッドの隣に位置する可能警報機構を含む。静原内(IV)フィーダーと 換気装置は、装置が鎮作動するか、又は完全に停止したならば、可聴警 報を含む生命維持装置の例である。これらの警報装置の主な問題は、可 聴警報が重産患者に与えるストレスと外傷である。可聴警報音はしばし ば患者を繋かすばかりか、パニック状態を誘発し、対応する精神生理学 は、網気に対する適切な妨碍を先導する無能力さに寄与又は結果する。

集中警報システムの例は豊富である。例えば、米国特許第4、803、471号は、1989年2月7日にRowlandに付与された換気監視及び警報設置を示す。1985年11月5日にMcEwenに付与された米国特許第4、550、726号は、一般に換気装置のための呼気中断の後出のための方法と装置を示す。1979年5月22日にDahlに付与された米国特許第4、155、375号は、可能警報条件を生じさせる患者換気装置切断警報を展示する。米国特許第3、877、467号は、1975年4月15日にPliechiに付与された人工呼吸システムを示し、そして1982年2月16日にHodgsonに付与された米国特許第4、316、182号は、換気装置切断警報を示す。これらの警報システムのすべては、基本的に、患者のペッドの傍らで可能及び/又は視覚警報を设ける。管警報は患者の可聴範囲内で為されるために、警報音は、外傷を与えないとしても、患者を非常に当惑させ、事実、患者を死へと追いやる。 適隔コール又はメッセージのページャーを携帯する人に警報するために可能及び触角振動信号を设ける小形式

易に利用できない場合に、臨界応答時間が失われ、多分、患者の生命を 危険にさらす。こうして、患者についての詳細情報を通信し、受取人に よる迅速な応答を許容するページング装置の必要性が存在する。

世来のページャーのさらに他の不都合は、情報が他の人員を通して受取人に中略されなければならないことである。これにより、特に情報を伝える医療験員が圧力とストレス下にある時、不正確な情報が医者に伝達される恐れがある。伝達不良は、「コードブルー」等報の如く緊急事態において悪化される。これにより、発症医療検護から受取人に直接に情報を通信するページングシステムの必要性が存在し、媒介による可能な思れと伝達不良を回避する。

従来のページャーはまた、受信メッセージのみに限定される。しかし、 メッセージ受取人は、頻繁に、他人に緊急に通信する必要がある。二方 向通信能力を育するページャーは、これにより、多数の緊急状況におい て本質的である。

従来の適個装置の別の欠点は、相互と契約緊急室と適信するために、 主に緊急医療技術者により使用される二方向携帯用無線電話機の相対的 な不便さである。典型的な携帯用無線電話機は、スピーカー/マイクロ ホンを取り付けたトランシーバーと電影を同一キャビネットにすべて配 置して成る。しかし、スピーカーとマイクロホン設計は、機つかの欠点 を有する。最初に、発症メッセージは、しばしば、緊急医療人員に軽々 しく侵入的に中離され、衰弱させる再迫を患者に生じさせる。第2に、 使用者は、通話時、携帯用無線電話機を物理的に口に接近させて置かな ければならないために、携帯用無線電話機の調定配置は不都合である。 こうして、少なくとも一方の手は、携帯用無線電話機の調作に占有され ケットサイズページング装置かまた、公知である。例えば、1989年11月7日にMatsumoto他に付与された米国特許第4、879、759号は、仮動器の特別機能を育するページャーを示す。また、米国特許第4、918、438号は、1990年4月17日にYamaaakiに付与された可勤及び援動報知手及を育するページング受信器を示す。Hayasakaに付与された米国特許第4、786、889号は、可配管なしにページを通して人に警報を与える援助ハウジングを含むページング受信器のためのバッチリケースを示す。1988年12月27日にSelinkoに付与された米国特許第4、794、392号は、本質的にページング装置である通信受信器のための扱助警報装置を記載する。

先行技術のページング装置は可聴音有り又は無しの複動の使用を示すが、今までそのようなページング装置は、患者を当該させることなく、かつ警報に応答してページャーを作動させるためのページング管理者による媒介作用を必要とすることなく、患者の近くいる医者、技術者と看護婦に非可聴、さらに決定的には、自動警報を設ける医療装置にリンクされた適慮システムと組み合わせて機能しない。

る。緊急医療技術者がCPRを行う又は緊急塞と速値するとともに負傷 した人を移動させるために厳しい時間制約下にある緊急事態において、 一方の手の占有は、厳しい不利益になる。

最後に、多数のページングノ緊急速度システムは、可変を員状態に自 動的かつ柔軟的に調和しない。こうして、必要な数員が「持機中」でな いか、又は他のより緊急な医療状況で先占されているならば、対応でき る敬食へコールを経路指定するためのフェールセーフ管理装置を設ける 必要性があり、その結果医療緊急事態への迅速な応答は最大化され、か つ応答は常に必要な人に設けられる。

本発明は、患者の医療条件と、病院前、病院後又は病院内設定において使用される医療装置の状態と動作条件に関する確実、効率的かつ信頼 性のある通信を设ける通信/警報システムによって先行技術の問題を克 思する。本システムは、通信が患者に当惑又は外傷を与えないように設 計される。患者と生命維持装置に責任のある医者、看護婦又は技術者の 如く必要な病院人員のみが、警報される。情報は、抵勤報知、特殊設計 光表示、又は最小可能署告機構を有する通信装置を使用することにより 無者で伝達される。

表示は、問題を有する特定患者、特定欠損装度、患者位度及び/又は 名前、鉄道名、又は該重から直接に託まれる他の関連情報を推写する。 さらに、多様な患者の医療上の要求と興味職員状況を監軟に関連付ける 適用管理システムが、设けられる。

発明の要約

本発明は、一般に、患者に非可能かつ非関素の患者監視、通信、管理 及び患者生命維持装置警告システムに関し、患者が医療問題を育する。 及び/又は医療装置が媒作動することを感者、看護規及び/又は技術者 に通知するために使用される。システムは、病院前、病院内及び/又は 病院後投定において使用される。

発明による非可能適信システムは、適切な医療整度及び/又は患者整 視又は手術室装置に適結された装置をシサーに取り付けた電気作動信号 発生器と、信号発生局及び/又は他のマスター警報制御路と通信するように適合された少なくとも一つのマスター警報制御及び表示部と、中央ホストコントローラから成る。各マスター警報制御鞋置は、患者領域から取り除かれ、好変しくは重理網部局に位置する。応用の中には、マスター警報制御部が手術室、無急室又は他の所望の位置の僅かれることもある。多重マスター警報制御装置は、ネットワークにおいて連結される。 非可聴報知器を育する適切なページャーグループもまた、システムの一部である。

各マスター制御及び表示ユニットは、医療徴員の可用性に関する情報を保存するための選切な論理とメモリを含み、その結果マスター制御は、利用可能な受員と入り緊急コールのマッチングにより、それらのコールを管理する。選信及び警報システムが取り付けられた典型的な難持装置は、「Vフィーダー、換気装置、心拍動曲級モニター、CO:機械、胎児モニター、原拍モニター、血圧モニター、又は他の生命維持患者監視装置、ないしは心臓が節機械等の手術室装置の如く網院内装置、原拍モニター又は除細動器の如く緊急及び非緊急設定において使用される網洗制装置、そして、例えば、患者の家、保養所、収容所、医院又は教育遊役において使用される網洗後被置を含む。

ある生命維持装置と患者監視装置は、即時の応答を要求し、特別重要

警報及び通信システムは、警報信号発生器、マスター警報制御及び表示部、ページャーと携帯用無線電話機が、困厄している特別患者に可聴 又は複党警報を設けないように設計される。可應警報は、可聴警報音が 患者に関かれないならば、マスター制御及び表示ユニットにおいて複党 表示に加えて使用される。警報信号発生器は、警報を作動させるセンサー信号なしに、付加援助を召喚するために、ペッドの傍らの人には、 情動される手動援助呼出しスイッチを含む。代替的に、援助呼出しは、 補助を必要とする人員が署用したページャーから発する。こうして、是 理解は、遅れと患者への警報なしに、患者のペッドの傍らから医師にの 接ページングする。不正なページャー番号が、例えば、患者のペッドの 傍らの看護隣又はマスター警報制御部の操作員によって入力される場合 に、システムは、不正入力の看護婦/操作員へ即時のフィードバックを 扱けるためにページャー番号を関へるために、システムの使用者はまた、 正しいページャー番号を関へるために、所望のページャーに関連した相 手先の名前により、テーブルリストにアクセスすることができる。

システムは、患者の窓において患者の視野から障された付加的な警報 視覚表示パネルを含む。そのような場合に、警報視覚表示は、患者の問 題又は装置の誤動作を指示するライトを備えた光パネルが、被監視患者 によって観察できないが、患者監視警告又は装置練書を指示するために、 室において位置する病院及び医療人員に可視である如く位置する。また、 表示詩が、誤作動袋屋を識別するために患者の視野外で装置に設けられる。

ページャーは、発明の構成要素である。発明により、特殊設計のペー ジャーの通切なグループが、適切なページャーグループにおける適切な である。欠損性気候をは、患者が呼吸するのを即時に停止させる。 IV フィーダーは、中断されたならば、生命を脅かす。心臓脈怕及び血圧変 視システムは、患者が困厄するならば、即時の応答を要求する。即時性 の必要はまた、数秒の損失が患者の生命を導うかもしれない手術室環境 において重要である。本発明を形成するシステムはまた、特別の医者を 特定の目的地に召喚する非可聴メッセージを投げるために、 架空可聴ページングシステムを置換又は増強するために便用される。 可変条件と優先底に基づいて適切な職員に警報を与えるために、マスター警報制御郎に に関連した論理と、 医療人員、 解院透符管理者、 そして最も重要なことには、患者と通信する適切な操作員の使用のために、 知識が、 システムのマスター警報制御郎にプログラムされる。

発明の警報構成要素は、患者が困厄している、又は酸産が故障又は停止したことを指示する、非可能の従来の裝置の警報センサーからの電気 出力信号を受信する警報信号発生器を具備する。警報信号発生器は、自 己電源を有し、マスター制御及び表示ユニットと通信する。

警報信号発生器は、問題を指示するセンサー信号に応答して符号化パルス信号を送信し、特別な更者及び/又はマスター制御及び表示ユニットにおける装置形式と表示位置の如くいろいろな識別情報を設ける。マスターユニットからの即時送信は、医者、智護婦及び技術者によって保持された遺切なページャーゲループに行われる。警報発生器のほかに、情報通信制御モジュールは、医療装置において配置され、その結果、医療設置操作員に利用可能な同一情報はまた、遺切なケーブル連結又はRFベース受信機/送信機を通してマスター制御及び表示ユニットとベージャーに通信される。

ページャーに符号化警報信号を送信するマスター制御及び表示ユニットに関連して、医者、看護婦と技術者に非可聴に警報するために使用される。適切なページャーグループは、従来の扱動報知器を有する。また、適切なページャーグループは、従来のRF信号受信機と信号処理回路のほかに、所選ならば、医療装置から直接に設けられた位置、患者名、装置識別及び/又は他の関連情報に関する即時情報を与える光放品表示(LED)を含む。符号化警報信号は、ページャーにおける表示面を構成するライト及び/又は放品又はLED要素の配列を作動させるためのマイクロプロセッサー回路において処理される情報を設ける。表示はまた、すべての利用可能な人員から即時の応答を必要とする、「コードブルー」指示を含む。英数字キーとソフト指定機能キーを含むキーボードが、ページャーにおいて配置され、使用者はマスター警報制御郎と他のページャーにメッセージを通信することがアネス

ページャーはまた、デジタル放時計と全く阿様に使用者の手首にはめ られるように配置される。

発明の別の重要な要素は、患者の例において数値に取り付けられたセンサー、医療装値に開接した警報信号発生器、及び/又はマスター警報 制御機能に位置する警報信号割り込みスイッチである。警報信号発生器 は、いったん患者の問題又は数値欠陥によって作動されたならば、上記 の割り込みスイッチの一つがアンロックされ、手動で作動されるまで停止せず、患者が不注意で無視又は忘れ去られることがないことを保証する。割り込みスイッチは、適切なタイミング機構によりタイムアウト時 非作動位置に復帰するタイムスイッチか、又は解放時に非作動になる瞬

特表平6-502270 (**5**)

時スイッチである。初り込みスイッチの状態と初り込みスイッチの時間 期間は、初り込みスイッチをアンロックするために通切な間隔を有する マスター制御ユニットの操作員によって設定される。何り込み条件とそ の割り込みに対して残っているタイムアウト期間又はその割り込みによって満了される時間は、マスター制御ユニットによって表示される。

本発明のさらに他の特徴は、装置監視及びマスター制御ユニットに結合して使用される携帯用無線電話機通信システムである。携帯用無線電話機通信システムである。携帯用無線電話機システムは、緊急技術者と医療機具が、医療被関モニターからの直接の情報を介して患者の状態に関する数念車からの有効な通信と緊急人員によって着用された携帯用無線電話機装置を通して緊急人員(例えば、医療技術者、数急車運転手、警察官、損防隊員、等)からの音声メッセージを受信することができるように設計される。

数出携帯用無線電話機装置は、すべての通信が患者又は他人に不当なストレスを生じさせることなく、静かに行われる如く秘密機能を育する。 携帯用無線電話機配置は、環境機管レベルを消費させ、通信の完全な秘 密を保証するように投計されたマイクロホンとヘッドセット部分を含む。 これにより、携帯用無線電話機設計は、通信値程を聞くことにより生成 されルストレスを紹小することにより、息者の秘密性を最大にする。

本発明の目的は、困感している患者又は欠損装置から生ずる通信及び /又は警報が、患者の外傷を防止するために患者によって聞かれない又 は見られない如く、病院前、病院内及び病院後役定において里者によっ て使用される患者監視及び生命維持装置のための改良警報及び通信シス テムを設けることである。

本発明の別の目的は、監視される人を含む患者のだれにも警報又は妨

すると、本発明が、疑惑的に示され、医療装置から状態出力信号を受信する警報信号パルス発生器12と、装置センサー10が患者が困厄していることを指示する時又は装置の誤動作の場合に信号を設けるセンサー10を具備する。従来、センサー10を使用する装置は可聴警報を含むが、出顧者の発明は、禁量に取り付けられ、患者によって聞かれる又は見られる任意の形式の可能及び/視覚信号を除去する。 センサー10は、救急車、事故現場、緊急室、医院、又は診療所において使用される装置の如く網院的装置で使用されるように適合される。センサーはまた、網院の回復網接等の患者の宜において見られる患者監視及び生命維持設置又は手術室において使用される生命維持設置の如く網院において使用される接置に取り付けられる。成業所、収容所、又は患者の家における如く網院後投足、又は医療数質及定において使用される装置もまた、センサーで使用されるように適合される。遺信シスチムはまた、緊急至受人部局における如く網院管理環境において使用される。

特定形式の装置は、限定的ではないが、除細動器、酸素濃度計、EKGモニター、EEGモニター、静原内送り袋置、換気装置、原拍モニター、及び上記の環境において使用される任意の他の装置を含む。

センサー10は、サンプリング中の装置形式に基づいて、通応サンプリング車を育するように設計される。例えば、換気設置は、非常に高いサンプリング車(例えば、1-2秒母)を育するセンサーを必要とし、一方、【Vモニターは、15分母にサンプリングされる。こうして、センサー10は、サンプリング時間期間を相応して変化させるように調整される。センサーはまた、指定設置に見られる警報表示器ハードウェアに直接に適給されるように適合され、その結果特定設置設置機

書することなく、容報が生成される解説において、現在の病院改員により即可歴像人員のみに容報する世産患者監視及び生命維持袋屋のための 改員容報システムを投けることである。

そして本類明のさらに別の目的は、通切に応答するために職員の効率 を縮小することなく、思考への外傷を除去する無管患者整視及び生命経 持破屋システムを投けることである。

本発明は、以後明らかになるこれらと他の目的により、添付の図面を 特に参照して以下に記載される。

図面の簡単な説明

第1図は、本発明の一実施感様の極格図を示す。

第2図は、本発明で使用される典型的なページャー表示面を示す。

第3図は、本発明において使用された紙音警報システムの概略図である。

第4回は、発明による警報システムの実施例として換気生命維持システムを使用する反応図である。

第5図は、第1図に示されたマスター制御ユニットの振略プロック図である。

第6回は、本発明による情帯用無線電話機ヘッドセット配便の斜視図 である。

第7図は、第6図に示されたヘッドセットのマイクロホン送話口の前 而は周辺である。

第8図は、本発明による代替ページャーの実施想様の前面図である。 発明の行ましい実施整様

同一の参照委号が同一の部分を示す図面を参照し、特に第1回を参照

で散別された警報し合い値は、センサー10によって自動的に通信され *

警報信号パルス発生器12は、装置監視センサー19から状態出力信号を取り、そして思考、室、数急惠又は他の関連位置情報を識別する符号化パルスにその信号を変換する。センサー10が問題を表す装置形式はまた、装置からの採取り報とともに識別される。

警報信号パルス発生群12の出力は、従来の電線又は光ケーブルを通して一般に着護婦部局に位置するマスター警報制御部14に通信される。代替的に、発生費12からの通信は、(数数平用に特定されたものの如く)従来のRF聚急等域を通して、又は緊急医療人具用にRFベースである。センサー10と発生器12が患者の窓又は医院において使用されるならば、発生器12は、例えば、マスター制御部と表示部に直接にリンクされた電話機にモデム又は他の通信装置を通して連結される。信号発生器12の通切な家庭用途の別の例は、EKGの生命を骨かす不登録を検知するためのHalterモニターとの組み合わせであり、マスター制御部14において検知され、この患者のために責任のある人達によって着用される適切なページャーグルーブの各々に通信する。こうして、本ンステムは、家庭で監視できるために、患者の解試を促進する。

例えば、信号発生器12が、単一マスター署報制御及び疫示部14を 搭載した各数急車に位置するならば、各数急車のための分離RF帯線が、 通信連れを避けるために割り当てられる。個々に割り当てられたRF帯 域はまた、銅院において各急者室を指定するために使用される。

マスター警報制御部に信号を送るほかに、パルス発生器は、遅れを避 けるために、ページャーと同時に通信するようにプログラムされる。こ うして、心臓病を育する患者が、病院に緊急人院されるならば、EKG 情報は、マスター結構表示部に直接に温信され、一方、パルス発生器は また、入院患者について緊急室に割り当てられたページャーを介して心 経病専門医に警報する。ページャーの初期作助の後、患者が診断される ならば、ページャーは、患者の条件が変化する毎更新される。

ベルス発生器12のきらに他の機能は、製動作に対して接種を検査する能力である。検査は、マスター警報制質部14から開始され、その結果コントローラ操作員は、装置状態を適隔で表示する。こうして、教急取取の各車に位便する緊急装置を検査するために、各RF帯域は、マスター制御部14の操作員によって個別に選択される。識別された帯域と関連したそれぞれのベルス発生器12が、アドレス特定され、それから、教急車と関連設定を選別することにより、マスター制御部14から送られた開始信号に応答する。マスター制御部14は、緊急装置を作動させ、センサー10を通してその条件を検査するためにベルス発生器12に信号を送る。自己検査機能がまた、ページャー(pager)16、18又は100、あるいは技術者の携帯用無限電話機から開始される。いったん検査されたならば、装置状態が、マスター制御部14に返信される。

マスター制御部14はまた、患者の位置、患者の条件と応答を必要とする装置形式の如く関連情報を設ける視覚表示部を含む。マスター制御部14は、それぞれアンテナ16a、18aと122を育する適切なページャーグループ16、18と100(第8図参照)に信号を同時に送信するためのアンテナ14aを含む。適切なページャーグループ16、18と100は、可可報知能力の代わりに又はほかに援助報知器を育し、その結果費用者は、いったん援助を感じたならば、視覚機識を育する接

当てられた病院職員の名前とともに、緊急コールに応答する個人の可用 性を含む。こうして、患者に割り当てられた医師が別の緊急に付添うな らば、システムは、手があいており、及び/又は装置によって示された 状態を専門にする代替医師を柔軟に割り当てる。他の発症医療データ又 は人員がまた、マスター制御部14に包含される。例えば、元の医師の 電話及び/又はページャー参考が、入力され、その結果元の医師が通知 され、診察する。装履に総合された医療データは、実験変検査結果を含 む、患者の病理において見られるすべての情報を含む。実験監検査結果 を組み込むコンピュータ化システムは、本発明の一部を形成すると考え られる。例として、M. M. Shabot他により、「臨床実験室のた めの決定支援警報と血液ガスデータ(Declision Suppor t Alerts for Clinical Laboratory and Blood Gas Datal、臨床監視及び計算の国際雑 姓(International Journal of Clini cal Monitoring and Computing), pp. 27-31、1990において報告されたALERTSシステムは、警 競条件をマスター制御部14に自動的に通信し、ALERTSしきい値 に基づいてページャーに通信するためのデータの一部を形成する。AL ERTSデータベースに関するデータは、興院データベースを通してマ スター制御郎14に設けられる。ページャー参与は、装置によって自動 的に呼び出され、その結果透信は、主制回操作員による最小の介入によ り週切な資税程度に自動的に行われる。

ページング人員と医療データのほかに、マスター警報制御装置は、システムのためのメッセージ伝達トラフィックコントローラとして作用す

示面を視覚視察するためにページャーを位置付ける。ページャー18と 18に示された如く、一連のライトが、即時の応答を必要とする面と患 者の数別を示すために設けられる。代替的に、ライトは、数急率番号又 は患者の質話書号の如く他の情報を示すために配置される。さらに、他 のライトが、どの設置形式が即時応答及び/又は他の関連情報を必要と するかを示すために設けられる。

ページャーのほかに、マスター制御部14は、上記の医療装置額段と結合して又は全く独立に緊急医療職員から管理通信を受信及び通信するように適合された携帯用無線電話設通信装置(第6~7回参照)と相互作用する。通信は、制御部14の一部を形成するスピーカー/マイクロホン16、又は通信の秘密性を保証するヘッドセット80あるいは他の従来のヘッドセット配置を通して行われる。スピーカー/マイクロホン15は、複数の個人が同時にマイクロホンを通して話しをすることを可能にする。代替的に、スピーカー/マイクロホン15は、網院インターコムシステムに連結される。ヘッドセット80に関するさらに詳細は、第6~7回において以下に述べられる。

マスター制御郎14は、速度、秘密性と効率を最大にするように、最 小の人の介入で優先及び効率的通信の速成に関する情報を記憶するため に操作員によってプログラム可能であるように役計される。

さらに詳細に、マスター制御部14の配置が、第5図に示される。図示された如く、マスター制御装置は、病院の職員状況により、通信をスケジュール及び優先するためのプログラム可能制御を設けるように配置される。システムへ現情報を入力するために、使用者は、キーボード62を慢作する。設けられた情報は、各車者、各室と各区療状態に割り

る優先アルゴリズムを含む。こうして、コードブルー条件が通信される 場合に、システムは、他の低優先原位メッセージを中断させ、「コード ブルー」メッセージを即時に通信する。

キーボード62は、マスター制御部14におけるバス64を介してメモリ66に連結される。週切なRAMとROM及び/又は高速半導体メモリ袋型(すなわち、スクラッチパッド又はキャッシュメモリ)が、必要に応じて、配性可用性情報を迅速に検索するために使用される。それから、配性データは、(トランシーパー70のためのRF帯域を選択する、鉄置健取り値を解釈する、優先決定に基づいて手のあいた職員を選択する如く)配性データにおいて週切な論理演算を行うために、CPU68によって処理される。マスター制御部14の入力/出力検算は、ケーブルリンク13を介してパルス発生器12からデジタル信号を受留するデジタル『ノのユニット72によって取り扱われる。きらに、マスター制御部14の表示部に提示され、又は付属プリンターに印刷出力される情報がまた、設けられる。音声「ノ〇ユニット74が、他の音声装置(携帯用解録電話機へッドセット、又は電話機)に対して送信及び受信された情報を制御するために使用される。

マスター制御装置に利用可能なRF帯域は、システムが置かれた特別な環境により変化する。例えば、マスター制御部が数急度と遠径するために使用されるならば、トランシーパー70のために選択されたRF帯域は、緊急RF帯域である。RF帯域の選択は、キーボード62を選して制御され、トランシーパー70を操作員によって説別された成故数に調整する。こうして、マスター制御部は、多重周波数において動作し、監軟性を与える。例えば、扱つかのマスター制御部が、手術室において

一つ、緊急室において一つ、心臓病治療ユニットに一つ配置する如く、 四一斑政において使用されるならば、種々のRF帯域が、干渉を避ける ために種々のマスター警察ユニットに割り当てられる。

動作において、図えば、原泊又は血圧モニターの如く患者モニターが しきい値よりも低下するならば、センサー10は、軽幅信号パルス発生 第12に問題があることを指示する状態信号を设ける。それから、符号 化パルス信号が、準備され、配線ケーブル13又は電話/モデム線、あ るいはRFアンテナ12まを通して、マスター軽線創製部14に送信さ れる。マスター制御部14は、看護機部局における複党表示部において、 意、患者と数値に関する符号化パルスに含められた情報を同時に表示し、 一方、システムは、通切なページャーグループに符号化メッセージを向 時に地信する。

. 以下に評細に記載される如く、種々のRF希域で通信するシステムの 適合性はまた、周放数切換え可能なページャーにおいて反映される。従って、密節が家庭で作業し、一周波数においてモデムに家庭で通信する ならば、ページャーRF希域を領域のマスター網面周波数に変更し、手 物室において使用されたマスター等収ユニットの希域に一致するように 再びそれを興整する。

システムはまた、ETHERNETの如く従来のネットワークを通して相互に連討されたマスター警報制御邸のネットワークを収容する。こうして、人員及び医療データ情報のスケジュールは、患者の変化する必要性と解除の変化する状態をより密弦に相互に調整する制御邸14の間で共育される。こうして、患者が手術蓋(OR)から心臓病治療ユニット(CCU)に、そしてCCUから一般医療回復ユニットに移動される

制御部14の表示は、これにより、全〇R装置の出力を配合するために、一個人は、制御部14を通して患者の全身体条件を見ることができ、そしてまた、特別な援助が必要な場合に〇Rの外部にいる必須人員にページングする。システムはまた、装置警報の可能通信を制限するように投計されるが、例えば、すべてが患者内に十分にあることを指示する機準、聴覚用信号を推論する。

第2回は、適切なページャーグループのページャー20の一実施態像を示す。ページャー20は、応答を必要とする生命館特装度を付けた患者が位置する特別室を照らすことにより無音で情報を指示する複数のライト20aを含む。同様に、付加ライト20bは、応答を必要とする室内の特別患者を表現する。ライト表示は、ページャー20に位置する級動料知路を通して増強される。

第3図を参照すると、発明の代替型様が示される。代替想様は、限定的ではないが、1Vフィーダー、換気装置、EEG装置、EKG装置、CO1別定装置を含む患者モニターから出力信号を入力として受信する容報信号パルス発生器32を含む。パルス発生器は、旗動作又は患者問題が存在することを指示する任意の形式の装置において位置するセンサーから警報信号を受信する信号処理ユニット32 a を含む。信号プロセッサーは、一般に管理機能局に位置するマスター制御部30にケーブル30 c 又は週切なRF通信によって送信される符号化パルスに信号を変換する。マスター制御部30は、효율号、患者識別に関するライトを具備する表示面30bを含み、そして可聴信号が関かれない又は当系させると見られる如くマスター制面局が患者から十分離れて位置するならば、骨声マイクロホン/スピーカーを含む。表示部30bは、第1図と第5

ならば、その患者に関するすべての情報は、ホットワーク78によりそれぞれの領域に責任のあるマスター警報制御部14に通信される。こうして、例えば、回復室人員は、その患者を回復ユニットにおいて収容する前にORにおいて息者の状態を観察し、その患者の到着を準備する。

マスター警報制御部14の配置の別の例は、特別な形式の装置に対してすべての居号を整視するためにマスター警報制御部を割り当てることである。こうして、すべての損気装置ユニットは、一つの割割部14によって取り扱われ、一方、すべてのEKGユニットは、分離制御部14によって取り扱われる。制御部14の数は、昇環、フロア、及び全体としての施役の必要性を調たすように調整される。制御部14はまた、通切な時、医師の経過に置かれる。

マスター警報制御昭14の動作は、後密保護を保証し、優先権を維持し、かつすべての情報を更新する他力ある医療操作員により行われる。 程々のレベルの訓練を有する操作員が、種々のマスター警報制御昭14 に割り当てられ、あるいは異なるレベルの責任、人物証明及び経験を有する複数の操作員が、単一マスター制御部に割り当てられる。多重緊急条件が同一医師に対して起動される場合に、操作具の存在は、正しい専門技術を有する支援人員が、警報に有効に応答することを保証する。

例として、マスター客権制御部が手術室(OR)設定において使用されるならば、多くの場合医師である個人が、接示部におけるOR装置のすべての状態を単に監視するために割り当てられ、一方、装置のそれぞれの部分を担当する各医師は、警報が発生する時付勢されるページャーを番用する。ORにおけるマスター警報制御部における操作員は、医師への不必要な警報を避けるために偽装置警報を中断させることができる。

図においてマスター警報制御部14に関して示され足載された如く、より複雑な情報を含む。マスター制御部30はまた、適切なグループのページャー40に符号化されたRF信号を送信するページャー送信器を含む。

適切なページャーグループの各ページャーは、ページャーの一方の面に位置付けられた液晶表示配又は発光ダイオード表示部から構成される 複度表示部40bを有する。ページャーにおける報知器は、ページャー に位置する抵動器40cによって生じた運動感覚性振動を含む。ページャーはまた、表示面40bと振動ユニット40cを駆動するための選切な信号処理回路を含む。ページャーは、特別な位置へ特定医師を無管で召喚するための情報を設ける。

システムのいろいろな部分、マスター警報制即部14、センサー10 及び第3回に示された警報信号パルス発生器32はまた、警報スイッチの作動により、システムによって生成される警報信号を非活性化するための割り込み作力を含む。割り込みスイッチの目的は、適正な人物延明を育する人が割り込みが必要であると信ずる場合に、装置の特別な部分、装置金窟、又はさらに大領域に対して、警報信号を組止するものである。割り込み信号の重要性は、誤動作技匠に対して警報を解除し、(患者が移動され、登接したすべてのモニターをトリップさせるならば)患者に取り付けた装置のすべてに関する警報を選訴させ、又は(技術者が解説におけるすべてのEKG装置に対するし合い値を低く設定し、連銭警報を生じさせるならば)装置の全フロアを分離することができることである。

第3回を参照すると、装置から発生された信号に選択的に割り込むた

めの主警報割り込みスイッチ32dが、示される。割り込みスイッチ32dは、ロック(すなわち、参与組み合わせ、又はマスター制御部を走してセットされるならば、使用者機密保護参与)によって妨疑され、その結果スイッチは、アンロックされた時作動される。ロックは、弁認可個人が装置をオフにするのを防止するために必要である。さらに、警報発生器信号は、患者のペッドの待らの患者モニター又は生命維持被置に連結された警報信号発生器に位置する主スイッチ32dを一時的に物理的に移動させることにより終了され、警報がオフにされるために、患者は診断されなければならない。

割り込みスイッチはまた、医療設置自体において使用された割り込みスイッチに物理的に接近又は開接して位置する如く、センサー10(不 図示)に置かれる。 詩異として、看護婦又は医師は、 接置を容易にオフにし、そして不当な不都合なしに割り込みスイッチをオンにする。 さらに、割り込みスイッチは、非辺可能員が接置を使用不可にするのを安全紡嫌するためのロックを含む。 割り込みスイッチの作動は、 装置の特別な部分に対してセンサー信号によって開始された存号化パルス信号を終了させる。 割り込みスイッチは、いった人解放又はオフにされたならば、断入力センサー信号に応答する準備のできた標準作動状態に警報信号パルス発生器を戻す。

割り込みスイッチは、「オン」位置にパネ負荷されるトグルスイッチ であり、タイマー回路を含む。割り込み状態はまた、マスター警報斜御 窓1.4に表示される。

週切なロックを構えた割り込みスイッチはまた、個々の装置、思考室 におけるすべての装置、又は所与の肩標におけるすべての窓に選択的に

御部52に発生符号化信号を送信する。本発明で使用された任意のモニター、警報システムとセンサーは、存在する可能警報を解除させる。従来の電源供給は、パワーを警報信号発生器と看護婦部局に位置する遠隔マスター警報制御部52に供給する。

智報信号発生器48は、一つ以上の個別符号化パルスを発生させることができ、各パルスは、例えば、装置の形式、室又は数急車番号の如く 患者位置、及び室内の特別な患者を個別に識別するために現場でプログラムされる。プログラマブルマイクロプロセッサー警報信号発生器48は、警報信号発生器への複数の異なる入力により、各種の符号化パルスを発生するように投定される。符号化パルスは、単一患者又は単一室における複数患者に連結される削述の装置の形式の関係する各種のモニターと辞価センサーから発する。

マスター警報制卸部52は、直接の問題を通知し、警報信号への応答を必要とする息者意と装置を表示する看護編部局において視覚表示を投け、上記の視覚表示を有する複数のページャー54と扱動報知器にRF信号を送信する。マスター制御部52からの送信信号は、ある人員によって保持された特別なページャーのみが作動されるか、又は第5図を参照して記載された如く、特別なフロア又は特別な領域内における適切な人員が活動化されるように符号化される。例えば、換気設置を既括に取り扱う技術者は、所与の領域内の他の人員を妨害しないある符号を有する。こうして、適切な人員のみが、ページャーにおける優勤報知器を通してページングされる。弁必卻又は他の人員は、妨害されない。高レベル緊急又は「コードブルー」信号はまた、特定患者モニター又は設置問題に対して送信される。

利り込むために、マスター警収制御部14に位置する。警収制御は、各 高レベル割り込みが付加ロック又は制御部14への高レベル集密保護ア クセスを必要とする如くプログラムされる。管理機個人は、例えば、装 置の一部分のみを中断させることができるが、管理機長又は当番級のみ が、全員機を使用不可にできる。制御部14の議密保護アクセス要素は、 従来のパスワードソフトウェアロック、又は議試的キーとソフトウェア ロック要素の組み合わせから成る。

きらに、患者の祖野外の患者の室において、皮示部32cが位置し、 患者及び/又は装置が注意を必要とし又は応答を要求することを窓にお いて付添人に示す。例えば、警報を指示する赤ライトが、患者の視野外 の装置に位置する。

第4図を参照すると、本発明の典型的な使用が示される。重症の硬た きり患者43は、換気装配44と、換気装置が摂動作するか、又は患者 に呼吸問題があるならば信号を設けることが知られた設置であるセンサ -46に連結されて示される。換気装置がこの例において示されるが、 多数の他の患者装置が、個別に又は本発明と一体的に使用される。

出版者の発明で使用される換気設置警報の実施例として、出版者は、 患者の呼吸が中断されるならば、警報信号を生成する換気数置モニター を記載する、1985年11月5日にMcEwenへ付与された米国特 許第4、550、726号において見いだされた開示を組み込む。警報 信号は、本発明での使用に対して非可聴にされる。McEwen数置か らの出力警報信号は、例として、連結され、第4図に示されたセンサー 46を表現する。それから、警報信号発生器48は、センサー46から 級動作信号を受情し、患者から触れて位置する看護嫉妬局のマスター制

さらに、マスター制御部は、患者コール又はヘルプシステムを監視するために使用され、その結果各部操作員は、患者のコールが緊急に係わる時、週切なページャーグループを付勢する。

思者を保護するための別の構成要素において、警報信号発生器48は、 患者又は患者の生命維持装置が診断されることを保証するために、患者 のペットの傍らで手動で作動されなければならない使用中装置の各部分 に対して、削述の如く、警報信号割り込みスイッチを含む。このため、 発生器48からの符号化警報信号は、問題が訂正される間割り込みスイッチが患者の位置において一時的に作動されるまで、看護師部局のマス ター制御及び表示部52においてページャー54に継続される。

昭知器として抵勤出力を含むペーツャーの技術を示すために、出顧者は、これにより、1988年11月22日にNEC社に協復された米国特許第4、786、889号の開示を組み入れる。第4回に記載された発明は、換気装置に関するが、すべての他の形式の生命維持装置及び患者モニターが、本範明で使用される。

振動報知園の有る又は無い他のページャーは、適切な表示部を付加して、本発明で使用される。 ちらに、創述のページャーは、ページャーと 制御装置 14の間の直接の二方向通信が利用可能である如く送信/受信 鉄置を組み込む。

第6図を参照すると、ヘッドセットマイクロホン配置80の斜視図が示される。この配置の目的は、口頭通信の秘密性が、患者及び/又は他人へのパニック的な生理機能を破小又は回避するために維持されることを保証することである。ヘッドセット配置の付加的利点は、携帯用無線電路機使用者が、携帯用無線電路機を物理的に保持する必要なしに、緊

急至成員と好都台に通信することである。図示された実施競技において、 ヘッドセットは、携帯用無線電話機マイクロホンースピーカージャック にプラグを差し込むように適合される。代替的に、携帯用無線電話機は、 単一統合ユニットとしてヘッドホンに組み込まれる。こうして、緊急図 曖昧術者の両手は、皇者を処理するために利用できる。最後に、マイク ロホンと耳違いにおけるパッフルは、背景雑音を取り除く。

ヘッドセット配置80は、一対のヘッドホン82を連結する管状ヘッドピース84を具備する。ヘッドホンの各々は、円形クッション85によって取り囲まれたスピーカー83を含む。代替的に、ヘッドセットスピーカーは、バッフルなしに耳に直接に挿入されるか、及び/又はマイクロホンはまた、バッフル材料なしに配置される。クッションは、泡ゴム、破物又はブラスチックの如く従来使用されたヘッドホンバッフル材料から成る。クッションは、スピーカー(不図示)を取り囲み、その結果スピーカーの出力は、電話者用者によってのみ聞かれ、そして外部組設は「東京ででいる」との関位でと関位を関(点線で示される)の間で掲載するように設計され、ヘッドホン署用者が一方の耳から聞くことを可能にする。 通動可能な配置は、通切な位置保止手段と組み合わせた任意の従来公知なヒンジ連続によって達成される。

管状ヘッドピース84は、左側イヤホン87の下に延びており、送話 □90に連結する。送話□の形状は、一般に使用者の開いた□の形状に 甌応するようにほぼ長円形である。送話□は、クッション92によって 取り囲まれた内部マイクロホン96(第7図)を含む。ヘッドホン82 における如く、クッション92は、使用者の□にマイクロホンを充全に

ページャーは、さらに、スイッチ124と126を含む。スイッチ124は、最後の表示メッセージが表示される如く、表示受信モードをオンに切り換えるように作用する。メモリにおいて受信されるすべてのメッセージは、駆びに表示され、複数押下によって配列される。メッセージ送信ボタン126は、送信モードを制御する。第1押下により、それは画面をクリアさせ、署用者が応答をタイプインする編集モードを設け、モして再び押された時、アンテナ122を通してメッセージを送信するための送信モードに切り換わる。これにより、ページャーは、医師が電話機を見付ける必要なしに、報音情報ペース透信を自動的に可能にする。結果として、臨界時間は、節約され、最大量の情報が、自動的に送信及び検索される。

病院に返答を通信するほかに、ページャー100はまた、他のページャーに情報を送信する。こうして、医者が緊急ベースで補助を必要とすると判断するならば、自己のページャーから返隔の他のページャーを呼び出し、そして条件の内容と問題の場所を記載する情報メッセージを投ける。特殊符号がまた、自動メッセージのために設定される。例えば、「コードブルー」条件が発生するならば、単一ボタンが、マスター制御部14によって押下され、ページャーへの可聴、運動感覚又は視覚メッセージを自動的に作動させる。

無容動作モードが望ましいならば、使用者は、メッセージの可聴報知 と援助報知を選択することができる報知器制御ボタン128を作動させ る。 研院設定において、歴者は、唯一の抵動が感知される如く、ページ +一によって発生された大きな可聴音を非作動にすることを望む。 他方、 音声ボタン128が作動されるならば、大きなピーブ音が、保障メッセ 密閉することにより、通信の秘密性を投げる。さらに、背景観音は、通信は明確に受信されるように有効に除去される。 .

透話口90は、使用者の口に対して旋回できるための適切な配置88 を通してヘッドピース84に連結され、使用者の肌にしかに置かれ、こうして口唇を密閉し、通信の完全な秘密性を保証するように調整される。 結果として、緊急患者又は他の静観者は、不当なストレスを生じさせる 話しを偶然聞くことはない。旋回可能な連結の例としては、使用者の口 に隣接した第1位度と使用者の口から離れた第2位度(例えば、あご免 の下)においてマイクロホンを係止するための移動止めを育するパネ食 像回転可能連結がある。

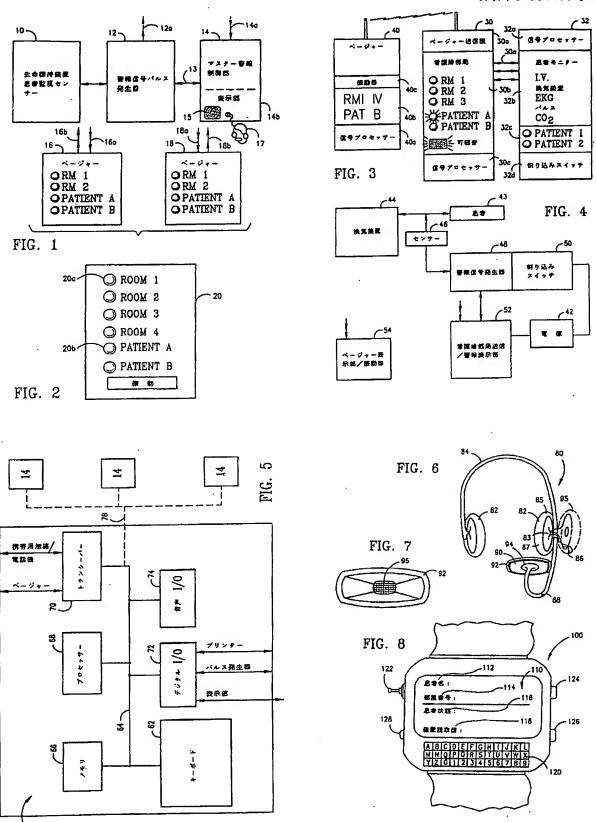
第8図を参照すると、ページャーの代替賞施型様が示される。示された如く、ページャーは、使用者によって好都合に専用される紋時計能度 100を具備する。純時計ページャーは、患者の名約112、位置114、条件116と自動装置情報118についての特別な情報を设けるために細分されたLCD形式画面110から成る。医療装置からの詳細な接取り組を含む任意の情報は、ページャーによって表示される。

図面を模型する結果として、曽用者は、患者の位置と条件を確認し、こうして、患者の条件の緊急性とどの作用が取られる必要があるかを迅速にアクセスすることを自動的に行うことができる。ページャー100は、応答メッセージをアンチナ122にリンクされたトランシーパーを通して病院に返送するために、ページャー着用者によって使用されるキーボード120を含む。ページャーは、アンチナ122を適してセルラーネットワークにリンクされ、その結果、病院への応答電話コールは、セルラーネットワーク内の任意の位置から為される。

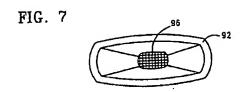
ージに対して特定周波数において、そして緊急「コードブルー」形式メッセージに対して異なる周波数において発生する。 発明は、こうして、賃配型者が即時応答を必要とすることを指示する非可認警報を設ける。 透切な医者、看度調及び技術員のみが、即時に召喚される。患者は、質かされることはなく、警報が発せられたという知識を育する。これは、患者への外傷を防止し、近くの他の患者が同じ理由の警報によって妨害されるのを防止するために役立つ。この発明によってこうして解決された他の重要な問題としては、脱輪ページャーを通して現場の鉄道と人員をインターフェースすること、社内職員のほかに、解院外の専門家を呼び出し時に患者の装置警報とインターフェースさせること、医療情報を送信するために人員にページングすること、適信に応答しなければならない職員個人に連絡すること等がある。

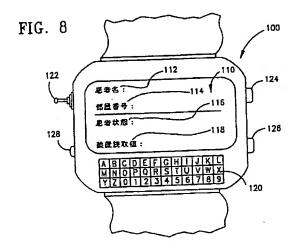
本発明が、最も実際的かつ好ましい実施意味と考えられるものにおいて示され、記載された。しかし、発明の範囲内で修正を行っても良く、その修正は、技術における当集者に行われることが認識される。

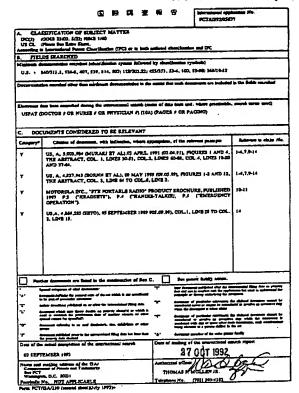
铸表平6-502270 (10)



特表平6-502270 (11)







【公報種別】特許法第17条第1項及び特許法第17条の2の規定による補正の掲載 【部門区分】第6部門第3区分 【発行日】平成12年2月8日(2000.2.8)

[公表番号] 特表平6-502270

[公表日] 平成6年3月10日(1994.3.10)

【年通号数】

【出願番号】特願平5-502382

【国際特許分類第7版】

G088 25/00 510
A61B 5/00 102
G088 23/00 510
25/01
25/04
25/10

[FI]

G088 25/00 510 K A61B 5/00 102 C G088 23/00 510 D 25/01 C 25/04 K 25/10 A

手統袖正書

平成11年7月12日

符許庁長官 伊佐山 建志 殿

1. 事件の表示

平成5年特許賦第502382号

2. 被正をする者

事件との関係 特許出版人

氏名 ラツセク, リンダ・ジー

8.代理人

住 所 〒107 5052 東京都港区赤坂1丁日9番15号

日本自転車会館

氏 名 (6078) 弁理士 小田島 平 吉 電 話 3585 2256



- 4. 補正命令の日付 なし
- 5. 補正の対象

請求の範囲

6、 抽压の内容

(1) 請求の範囲の機の記載を別紙のとおりに訂正する。

(J:



別紙

請求の範囲

「 Ⅰ. 竪鐐使用のための通信システムにおいて、

患者に関連する医療器具と、

放務具を識別する答案保持と駄器具からの検取り値を通信するために 該数具と通信する警報保持先生手段と、

旅客探信号と故<u>禁具</u>能取り値を受信し、患者位置、患者偽別、及びそのような患者に関連した<u>器具</u>能取り値に関する標識を表示するための側仰 手段とぐ具備<u>する通信</u>システム。

- 2. 模位個型表示を有する少なくとも一つのページング手段をきらに 具備し、影が脚手段は、数<u>算具</u>と患者に関する関連情報を残党表示する 構数を載ページング手段に設けるために、禁別信号を載ページング手段 に送信するための手段を有する時求の範囲1に記載<u>の通信</u>ジステム。
- 3. 鋭動帳知手段と、振動視知を設けながら就患者と鼓<u>発具</u>に関する 関連信頼を視覚表示するための視覚表示手段とを有するページング手段 をさらに具備する前水の範囲1に記載<u>の通信</u>システム。
- 4. 就根党表示手段が、即時応告を必要とする特定の無線信号に関する本、患者と<u>歴見</u>を指示する原数を表示するための原列表示普遍をさら に具備する原来の範囲3に配載<u>の</u>通位システム。
- 5. 就ページング手段が、ページャーメッセージへの応答を入力として受信するための応答手段と、

設応答を訪問部手段に透信するための透信手段とをきらに具備する始 求の範囲2に記載の環境システム。

- はページング手段が使用者によって常用される原水の範囲5に定 歴の飛信システム。
- 7、雄和町手段が、さらに、

メッセージ情報を聴射加手段に及けるためのキー人力学及と、 数メッセージ情報を起便するためのメモリ手限と、

メッセージを優先させ、はメッセージを通切な人員に経路都定するために、 はメッセージ情報と教容和信号と経具純取り値を処理するための 処理学校と、

数処理メッセージ情報を通信するためのトランシーバー手段とを具備する額求の範囲1配数<u>の適便</u>システム。

- 8. 枝メッセージ情報が、枝餅都手段が微粒度メッセージ情報を裏切 な利用可能な競具に達信するために、すべての患者に関するស新敬具情 概を含む請求の範囲でに記載<u>の利信</u>システム。
- 9. 減システムが、緊急吸尿サービスと飲気車袋をと共に使用され、 これにより、該制御手段は、該医原サービスと飲急車によって使用された緊急医療技術から該署契信号と器具読取り値を受信する第次の範囲 1 に影響の通信システム。
- 10. 複数の携帯用無線電話機を含む音声通信手段と、

数複数の供着用無線電話機での通常の秘密性を保証するために、核故 数の携待用無線電話機の各々に連結されるように適合された携帯用へッ ドセットとをさらに具備する確求の範囲1に記載<u>の発度</u>システム。

11. 諸複数の携帯用価級減酷機が、鉱制御手段と適信し、そして敵 制御手段が、鉄携帯用ヘッドセットに連結されるために適合される請求 の截断10に記載の通信システム。

- 12. <u>彼システムがが、辞録所、医院、病院、病産前さ患者の</u>家の上 つ及は<u>2つ以上の附属と共に使用される前束の範囲】に短額の作可接通</u> 度システム。
- 13. 該各権信号発生予段が、政警管信号と該<u>委員</u>続取り性を直接に はペ・ジング予段と推制和手段に設ける構成の範囲2に配載の過ぎンス かた。
- 14. 放容報信号発生器に連絡され、鉄<u>設長</u>の近くに位置する管報信 号処主器信号割り込みスイッチと、

放和り込みスイッナが作動されるまで、状態信号の受信に向わらず、 は再程信号と前許具接取り値を発生し続ける手段とをさらに具常し、数 替根信号は、就禁具の近くに位便する前り込みスイッナによって終了を れる所求の範囲1に記載<u>の通信</u>システム。

15. 貧質報供号発出務が、更に、

<u>酸スイッテに</u>接触され<u>ており、所定時間の後に敵警探信号を自動的に リセットするタイマイ回路を有</u>する原求の範囲し<u>に記載の通信システム</u>。

16. 鉄資税信号発生器が、鉄蓄税信号を発生させる手動操作スイッ チを有する関連の利用しに配数の通信システム。」

以上